



ゲストインタビュアー
大西 結花

special

interview



代表取締役
阿部 人士

電気工事への矜持と愛着を胸に 仲間と共に励み、高みを目指していく

北海道札幌市北区に拠点を構える電気工事会社「NEXT」。空調設備工事の設計・施工なども手掛け、北海道の目覚ましいエアコン需要に日々応えている顧客思いの会社だ。本日は女優の大西結花さんが同社を訪問。電気工事への強い思いを持つ阿部社長にお話を伺った。

——まずは、阿部社長の歩みから。
私は釧路市に生まれまして、以来、ずっと道内で暮らしています。元々私は「この仕事が好き」と思えるような仕事がなく、車や建築に関する仕事をしたり、行政書士の勉強をしたりして、自分の進むべき道を模索していました。そんな私が電気工事に携わったのは、27歳の時に電気工事会社を手掛けている父から請われ、双子の兄と共にそちらで働き始めたことがきっかけ。当時、父の会社は事業を畳むことを考えるほどに危機的な状況だったのですが、人が増えたことで立て直すことができました。そして手応えを得た私は、「自分の手で一から事業を始めたい」という思いを抱き、ここ札幌にて事業を始めたのです。ちなみに私の兄も札幌で電気の仕事をしているんですよ。

——ではお父様がお二人の進むべき道を示されたんですね。社長たちが入って事業を立て直されたということで、お二人の力量の高さが窺えます。
もちろん私たちも一所懸命頑張ったのですが、親の力も大きかったと思います。そこらには4年ほど勤めまして、父のもとで

多忙でした。元々北海道はさほどエアコンが必要とされなかったので手掛ける業者が少なく、突然増えた需要に供給が追いつかない状態なんです。
——それは嬉しい悲鳴ですね！ 電気工事のほうは、どのような現場で手掛けることが多いのでしょうか。
現在は住宅やマンションなどのお仕事を多く頂いています。身体を動かす仕事なので、私もずっと現場に出ていて楽しいですね。今では、電気の仕事を一生涯やっていくのではないかと、思っています。

——社長にとって電気の仕事は天職のようなものだったのかもしれないですね。このお仕事はどういったところに魅力を感じられますか。
電気や空調の仕事は人々にとって大切なもので、工事が終わった後に喜んでいただけることも多いですね。そういう時には、私自身嬉しいですし、やり甲斐を感じます。
——本当に人が生活していく上で欠かせない、大事な仕事だと思えます。社長がお仕事をされる上で一番大事にされていることは何ですか？
確かにIT業界などは会社勤めでも成功した時のリターンが大きく、「より多くのお金を稼げる」というイメージがあるのかもしれない。もっとも、人気のある業界でも成功する人は一握りで、必ずしも高い報酬を得られる訳ではない。何より電気は人々の生活を支える、欠かすことのできない誇り高い仕事だ。だからこそ電気工事に携わる人々には胸を張ってほしいし、この業界の真の価値を理解し、誇りを持って働く若者が少しでも増えていくことを願うばかりだ。

様々なことを学べた経験は大きく、それが現在の糧になっていると思います。
——独立してすぐにお客様はおられたのでしょうか？
いいえ。仕事関係の知り合いなどはなく、ゼロからのスタートでした。友人などにアプローチしたりしながら、少しずつ仕事を増やしてきました。そうして4〜5年ほど個人で事業を続けた後、2年前に法人化。現在は2名の社員と、協力業者さんと共に励んでいます。今はまだ基盤を作っている最中で、今年建設業の許可も取って、まだまだこれからというところですね。

——守るべき家族が増えましたね。御社ならではの特徴とはどのようなところだとお考えですか。
私自身が、あまり厳しく管理するような働き方が好きではないということもあって、自由に動けることを大事にしています。皆でよく会話もして、休みたい時には休めるといような社風ですね。

——ご家族とお時間を取ることも大切ですね。
そうですね。ただ、空調設備工事の設計・施工の事業も始めたところ、かなり好調で

そうですね……。従業員を含めて楽しくやることでしょうか。「社長だけが良い目をしている」といような会社にはしたくないですね。働いている皆が満足できるような会社でありたい、と思っています。元々私は起業した時も、「勝負したい」という思いと、「皆で楽しく頑張れる会社をつくりたい」という思いがありましたから。

——素晴らしいお考えですね！ 実際に経営者となったことで、心境の変化などはありましたか。
ほとんど変わっていないと思います。経営者となったと言っても、私が事業を始めてからまだ日は浅く、これからは勉強しなければいけないことはたくさんあります。ですからまだまだ頑張らなければと思いますし、「まだ頑張れる」という思いもあります。
——では、今後5年後10年後については、どのような夢を描いておられるでしょうか。
より人数を増やして売上も上げ、事業をどんどん大きくしていきたいですね。5年後には10倍くらいの規模にできたら、と考えています。

After the Interview

「私たちが生活をしていく上で、電気がなければ困ることばかり。電化製品も勿論そうですが、電灯が消えて暗いというのはどうしようもないから、本当に大変です。電気工事業者さんは、そんな困りごとを解決し、人々の生活に明かりを灯してくれる存在。そんな大事な仕事をしているという誇りを胸に、お仕事を続けていってほしいですね。そして『NEXT』さんのような温かな会社が、人々に愛されつつずっと活躍されることを願っています！」



株式会社NEXT

北海道札幌市北区屯田 6 条
2 丁目 9-21-103

URL : <https://sapporo-ac.com>